

授業科目名	公衆衛生学	科目コード	261031		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	2年
担当教員	長岡 小百合				
	実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ) 実務経験内容 獣医師免許 県外にて、小動物臨床獣医師、動物園獣医師として勤務。				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	60時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2単位	
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学			
	著 者	緑書房編集部 編			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	寄生虫ビジュアルガイド				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;</p> <p>公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。将来動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;</p> <p>公衆衛生の目的と活動、動物看護師としてどのような分野で活躍できるかを知る。環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持、増進や疾病予防への応用について理解する。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;</p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p> <p>通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とする。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;</p>					
<p>&lt;授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他&gt;</p> <p>動物感染症学</p>					

授業科目名	公衆衛生学	
2H/回	授 業 内 容	備 考
1	公衆衛生（公衆衛生の目的）	
2	公衆衛生（国民衛生の動向）	
3	公衆衛生（公衆衛生と獣医療）	
4	環境衛生（環境と環境衛生の概念、公害、地球環境問題）	
5	環境衛生（一般環境の衛生、廃棄物）	
6	環境衛生（院内感染、衛生動物）	
7	食品衛生（食品衛生とは）	
8	食品衛生（食中毒、食品の取り扱い）	
9	食品衛生（HACCP と一般的衛生管理事項）	
10	疾病と疾病予防（感染管理：感染症対策の考え方）	
11	疾病と疾病予防（感染管理：感染予防策の基本）	
12	疾病と疾病予防（バイオハザードの防止）	
13	疾病と疾病予防（疫学とは、疫学研究デザイン）	
14	疾病と疾病予防（感染症、その他の疫学）	
15	前期まとめ	
16	人獣共通感染症とは	
17	主要な人獣共通感染症(狂犬病)	
18	主要な人獣共通感染症(ウイルス性人獣共通感染症)	
19	主要な人獣共通感染症(ウイルス性人獣共通感染症)	
20	主要な人獣共通感染症(ウイルス性人獣共通感染症)	
21	主要な人獣共通感染症(ウイルス性人獣共通感染症)	
22	主要な人獣共通感染症(細菌性人獣共通感染症)	
23	主要な人獣共通感染症(細菌性人獣共通感染症)	
24	主要な人獣共通感染症(細菌性人獣共通感染症)	
25	主要な人獣共通感染症(細菌性人獣共通感染症)	
26	主要な人獣共通感染症(細菌性人獣共通感染症)	
27	主要な人獣共通感染症(原虫・寄生虫性人獣共通感染症)	
28	主要な人獣共通感染症(原虫・寄生虫性人獣共通感染症)	
29	主要な人獣共通感染症(犬猫以外の人獣共通感染症)	
30	後期まとめ	